

# 穂 学

令和2年度

広州日本人学校 学校便り

[No. 16]

令和2年11月6日(金)

発行責任者 校長 喜屋武浩司

## 「初めての秋の運動会！」

去る10月31日(土)、令和2年度広州日本人学校運動会が盛大に開催されました。夏休み明けから各学年の演技や競技の検討が始まり、国慶節明けから本格的な練習に取り組んで来ました。広州特有の夏も終わりにさしかかり、天候にも恵まれ、どの学年も順調に仕上がっていきました。また、日本から児童生徒が広州に戻り始めてきたこともあって、懐かしい友達との再会とみんなで大きな行事を創りあげる喜びをしみじみ感じることができました。

運動会当日、まだ陽も昇らない時間から、本校「親父の会」のメンバーもお手伝いいただき、テント立てや放送設備などの会場設営を行いました。早朝よりお手伝いいただいた保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

開会式では、紅白の団に分かれて整列し、各色の団長と副団長による選手宣誓が行われました。コロナ禍の中、学校再開が遅れたり、人数が少ない中で準備を始めた中学部を代表して、これまでにないユニークな選手宣誓となりました。自分たちの素直な気持ちを表現した選手宣誓は、来賓や保護者の皆さんからも「感動して涙が出ました」「頑張ってきたんだね」との感想をいただきました。

各学年の演技や競技などは、子どもたちの声からお伝えしたいと思います。

<小学部1年>

○かけっこをぜんりよくではしった。かいかいのことばをはっきりいえた。○ダブルゆうしょうするとはおもわなかった。かけっこで二いになったけど、つぎは一いになりたいです。○おうえんでおおきなこえだしてつかれた。

<小学部2年>

○かけっこで一いをとれました。ほかの人のおうえんもがんばりました。○(玉入れで)玉をたくさんいれてつかれました。ひげダンスをおどるときがとてまたのしかったです。○お母さんの「がんばれ」の声がきこえてとてもうれしかったです。○ドラえもんダンスではまちがえずにおどれてホッとしました。

<小学部3年>

○ソーランぶしの「サーサー」「ソイヤ」のところをせいっぱいがんばりました。○一番がんばったのはソーランぶしです。なぜなら、こしをひくくおどるところをひくくおどれたからです。○台風の目では、体力を全部つかいきりつかれはててしまいました。○おうえんも練習の時より百倍ぐらい大きな声をだせた。

<小学部4年>

○わたしはこの運動会で、みんなで力を合わせて運動会をつくりあげていくんだということを学びました。○一度も勝ったことなかったのが本当に心からよろこべました。○負けたらすごくくやしかった。それは自分が全力でとりくみ、みんなで力を合わせたからだ。○来年はぜったいリレーの選手になり勝利を勝ち取りたい。

<小学部5年>

○(組み立て体操の)6人技でとなりの6年生と息を合わせるのが最初はできなかつた



けど本番でできてうれしかった。○私が学んだことは勇気です。これまでがんばってきたことをむだにしたら練習の意味がなかったからです。○学んだことは友達と協力したら成功するという事です。「失敗は成功のもと」だと思います。

○組み体操はポップアップピラミッドをとくにがんばった。○ダンス、組み体そうでは、なにごとにも大きく表現することを学びました。

<小学部 6年>

○応援合戦では力いっぱいがんばれたし、「よくやった」という時も気持ちをこめて言えたので自分の中では一つの「勝利」をおさめられたと思います。○6年生最後の運動会でW優勝がとれなくて悔しかった。○来年は今年の運動会の時より、もっと体力を付けて徒競走は一位を取って優勝したい。○みんなよりおくれて（組み体操）の練習を始めましたが、本番で大成功出来た理由は、いっばいたくさん努力をしたからだだと思います。これからの生活でもたくさん努力をして一つ一つ山をのりこえていきたいと思えます。○なかなか技の順番をおぼえられなくてつらかったです。でも練習していくうちにおぼえて、本番では全力の演技ができ、失敗しなくてとてもうれしかったです。

<中学部 1年>

○「勝つ」だけではなく「仲間と喜び合う」という意味もあるので、それを今後の運動会で（後輩に）伝えていきたいと思えます。○学年での協力、応援などの学年をこえての協力、委員会で協力。私は今回の協力を生かして、生活の中でも、身近な人と協力し合いたいです。○功夫はぎりぎりまで振りが決まっていかなかったけれど、本番は今までで一番上手にできました。○運動会を振り返って学んだ事は、最後まで諦めないことと団結力です。○応援団長の真菜さんは皆に「お疲れさま～」などと声を掛けていて、そこから大切なのは勝ち負けよりも、運動会をどれだけ充実したものにできたかということなのだと思えました。

<中学部 2年>

○2日間だけの練習で本番をむかえることになったが、できる限り覚えて、本番では無事全部を完ぺきにやる事ができた。○応援も係も忙しい白組で、なかなか良い応援ができなかったけど、私は全力ででき負けても楽しめたのでよかったです。○（応援の）本番では今までで一番大きな声を出せました。みんながすごく笑顔でやってくれていたの、とてもあたたかい気持ちになりました。○人数が少なくてもすごい演技ができるよう一つ一つの動きを大きくすることを意識していました。○運動会は地獄でもあり天国でもあった。地獄は、式台でのラジオ体操、旗を振る、副団長になる、準備。天国はリレーでいい勝負ができたこと。

<中学部 3年>

○中学1年生のころよりも自分が係や技、体力面に関しても成長したことを強く実感しました。○応援では声がかれる程、全力を出せたと思えます。小学生達も応援団が、（自分たちが）いなくても自ら応援出来ていました。○私は今回1週間少ししか運動会練習に参加できなかったけれど、カンフーを最高の演技にすることができました。○功夫は本番に結構よくできていたので練習したかいがあったなあと思えました。○「下級生をしっかりサポートしたい」という目標も、「応援頑張ろうね」と声を掛けたり、準備物もしっかりと手伝えたりと、しっかり達成できたと思う。

<保護者>※小学部2年のみになります。

○児童生徒が少なかった分、個人にスポットが当たっているようで良い運動会でした。○家でも（ダンスを）たくさん練習していたので、運動会で踊る姿を見て感動しました。○親子競技のおんぶリレーでは何年ぶりかにおんぶをしてすごく喜んでいました。○通常マスク姿なので、子供たちの笑顔がとても印象的でした。○特に（自宅）隔離期間中にロイロノートで練習していた姿は微笑ましいものでした。

